

令和4年度第2回真の幸せ（ウェルビーイング）戦略プロジェクトチーム議事要旨

日時：令和4年10月4日（火）10:00～12:00

場所：富山県庁3階特別室（一部オンライン）

議事(1) 令和4年度成長戦略アクションプランの推進・検証について（資料1）

（事務局説明）

- ・ ウェルビーイング戦略PTの今後の開催及び議事の予定について
- ・ 令和4年度成長戦略アクションプランに掲げた各事業の進捗状況や今後の予定など
 - ①県庁内外に対するウェルビーイングの普及啓発の取組状況及び指標策定に向けた県民意識調査の進捗状況
 - ②「とやま女性活躍企業」として32社を認定したこと、女性活躍HPを改修していること
 - ③とやま子育てイメージアップ事業において、動画の作成を進めていること、大型ショッピングセンターでファミリーサポートセンターのイベントを開催予定であること など
- ・ 9月補正予算で実施するウェルビーイングアクション促進事業の内容について
 - ①県民参加型のウェブサイトの構築
 - ②県民向け、事業者向け講演会の実施 など

（委員の主な意見）

- ・ ウェルビーイングの認知度が低いという状況を踏まえ、継続的に情報発信する必要がある。
- ・ 県のほうで企業の成長とか子育てとかいろいろな施策を行っているが、ウェルビーイングの旗のもとにやるのであれば、ウェルビーイングのウェブサイトにリンクを張るとか、つながっていただけるようにやっていただきたい。
- ・ 各事業について、いろいろな指標の目標を立てながら全部伸ばして行って、最終的にはウェルビーイングの認知度が上がり、ウェルビーイングが向上するような流れにしていけたらよいと思う。
- ・ 富山県に限らないが、ウェブサイトを作っては事業期間が終わるとそのサイトが閉じられたり、リンクが切れたままになるものがある。今回、作成されるウェブサイトは、県民参加型ということなので、参加している人たちがいつの間にかそのサービスが使えなくなるようなことは避けていただきたい。ウェブサイトは、運営に力を入れてほしい。
- ・ 富山県として、どういうウェルビーイングを推していきたいのかということウェブサイトにしっかり反映させたほうがよいと思う。プロポーザルの実施時には、これを明確に伝えたほうがよい。例えば、多様性を一番伝えたいのであれば、読んでいるユーザー自身に発信させる方法もある。どういうウェルビーイングを推奨したいかということを決めてから方法を考えたほうがよいサイトになる。
- ・ ウェブサイトは、アンケートのような形で双方向性のあるコンテンツがよいと思う。アンケートの回答方法を簡単にし、回答する過程でウェルビーイングを理解できるようにして、最後に何らかのインセンティブにより得た気持ちになるものがあると、参加してもらいやすいと思う。
- ・ 講演会をすることになっているが、やっぱり参加者が自分事化することが必要だと思うので、

講演会だけでなく後半はワークショップにするなど、参加者の方が自分たちも参加するというようにすることが大事だと思う。

- ・ ウェルビーイングという言葉の住民への浸透には、やはり住民との直接対話が必要だと思う。福井県高浜町の取組みも参考にして、片方発信ではなく双方発信できる形を検討してもらいたい。
- ・ ウェルビーイングを進めるにあたり大事なのは、誰と一緒にやっていくかということ。丁寧に仲間づくりを行い、最初は少なくとも地道につないで大きな力になるようお願いしたい。
- ・ 普段やり慣れてないことをやらせない。なるべく日常的にやっていることをウェルビーイングの視点を入れて改善する。そういう意味で言うと、日々やっていてウェルビーイングに直結するのは食だと思う。食、料理とウェルビーイングというところから始めるのが分かりやすいと思う。
- ・ 女性活躍企業について、例えば女性の管理職比率が低くて認定基準に満たないけれど、これを上げるために計画を立てているような企業同士でつながり情報交換できる仕組みがあるとよいと思う。最終的には、認定企業とその手前の企業の数やそれが増えていく状況が見える形だと、プロジェクトの進行が分かりやすいと感じた。
- ・ 女性活躍企業の認定は、中小企業にとってはハードルが高い。女性管理職比率をあげることは上場企業でもハードルが高い。例えば、女性管理職比率が昨年度より何%以上上がったところも対象にするとか、少しハードルを下げてでも、場を広げることを検討していただきたい。
- ・ 女性活躍企業 32 社だけでなく、男女共同参画チームオフィサー229 事業所なども合わせて数字を出していくほうが、県の取組みがよくわかると思うので、ぜひセットで開示していただきたい。
- ・ とやま子育てイメージアップ事業は、本当に支援が必要な人が大変な状況でも行くのは大型ショッピングセンターではなく保健センターの健診なので、保健センターの健診の場でPRするような地道な活動を行ってもらいたい。

議事(2) 令和5年度成長戦略アクションプラン及び重点的な取組みについて(資料2、3)

(事務局説明)

- ・ 令和5年度成長戦略アクションプランにおけるウェルビーイング戦略について、令和5年度も令和4年度と同様の内容で引き続き実施していくこと、ウェルビーイング戦略PTでは、①県民のウェルビーイング向上と②女性のウェルビーイングの向上、働き方改革・ワークインライフの推進の2項目について議論していくこと
- ・ 県民のウェルビーイング向上のため、①単なる言葉の普及に留まるのではなく、今年度中に策定予定のウェルビーイング指標も活用しながら県民が自分ごととして共感できるような普及の取組み、②県民の皆さんに自らのウェルビーイングを高める行動を促す動的な取組み、を重点的に実施すること
- ・ 女性のウェルビーイング向上のため、①働き方改革や男性の育休取得の促進による家庭進出、女性のさらなる能力発揮、②就職期の女性が富山県で就職し生活したくなる働く場の創出、③子供を持つことを意識し始める年齢層、初婚期や第1子出産前後に響く子育て環境のさらなる強化、に重点的に取り組むこと

(委員の主な意見)

- ・ ウェルビーイングの「施策の目指すべき方向性」については、カタカナが多くピンとこない。違和感がある。これがあると余計分からなくなる可能性があるので、考え直していただきたい。
- ・ 小学生の夏休みの宿題にウェルビーイングを表現したポスターの公募があると、家族でウェルビーイングを考えたりするのではないか。子どもが描くウェルビーイングの姿に気づかされることもあるのではないか。
- ・ ロールモデルが具体的にありとわかりやすいので、ウェルビーイングを体現されている方に先頭に立って発信してもらうのはどうか。これが身近な人であれば、共感が広まっていくのではないか。
- ・ 富山から都会に出て迷っている人と、富山県でウェルビーイングを体現している人、女性の活躍を体現している人とがつながる機会をつくる必要があると思う。出会ったときに、一緒に働いてみたいと思ったときに、富山に戻ってくるのではないか。
- ・ 富山県で、①育休を取って食事の準備をする男性や②育児サポート、保育園の送り迎えをしている男性などを具体的に取り上げて、これがウェルビーイングだということを見せていくほうが、県民にとってわかりやすいのではないか。
- ・ ウェルビーイングに関する絵本を保育園などに配れないか。絵本は、子どもも読むし、親も読み聞かせたりするので、両方にウェルビーイングを分かってもらえる。
- ・ 産後ヘルパーに対する子育て世代の期待感は大きい。対象期間の延長など制度の拡充を検討してほしい。
- ・ 女性のウェルビーイング向上について、子どもを持つことを意識し始める年齢層に向けてだと遅すぎると思う。高校生に向けてアクションが必要。14歳の挑戦のように、高校生に女性活躍認定企業や幼稚園、子育て支援センターに行き体験してもらうのはどうか。